



56RACING 2013 Kickoff

-世界に通用するレーシングチームを目指して-

2012年、元 MotoGP ライダー中野真矢が立ち上げたレーシングチーム「56RACING」。

2013年シーズンも、筑波サーキットで行われる筑波ロードレース選手権 CBR250R カップ全戦に参戦します。

ライダーは昨年同様「ポケバイ中野真矢杯」

出身の名越哲平選手(15歳)が継続参戦する他、新たに「2010年 NSF100 HRC トロフィー グランドチャンピオンシップ JC クラス優勝」、「2012年筑波選手権 ST150 クラス チャンピオン」の櫻井芽依選手(15歳)を加えた2台体制での参戦を予定しています。

また、チームウェアは国内外で活躍するファッションデザイナーの吉田狼鐘音(ヨシダロベルト)が担当。ファッション業界からもモータースポーツを盛り上げていきます。

若手ライダー育成、業界の発展を視野に「いつかは世界 GP 出場!」の夢に向けて立ち上げたレーシングチーム。今年の目標は、2人のライダー揃っての鈴鹿サーキットグランドチャンピオンシップ大会の出場です。

今シーズンも 56RACING を通じて、モーターサイクル、モータースポーツ業界に貢献出来るような活動をしていきたいと考えておりますので、引き続きご協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



【56RACING 監督:中野真矢コメント】



お世話になったレース業界を微力ながら盛り上げ、世界 GP で得た経験を若い世代の選手達に伝えていきたい。

また、レースから得られる経験と技術を、ジャンルを問わず全てのライダーの方々にフィードバック出来るような活動にしたい。

そして最終的にモーターサイクル、モータースポーツの素晴らしさを伝え、社会的地位向上に貢献出来るようなチーム作りを目指します。

また、個人的には今年、Honda が日本を含むアジア大洋州地域 12カ国から若いライダーを選抜し、将来の GP ライダーを排出するための育成プログラム「アジア・ドリーム・カップ」のプロフェッショナルトレーナーに任命されアジア各国を転戦します。この経験を、過去にサポート活動してきたポケバイ選手権、ロードレース国内選手権と結び付け、次の目標であるチームのアジア選手権出場、そして、最終的な夢の世界 GP での活動へ繋げていきたいと思ひます。

